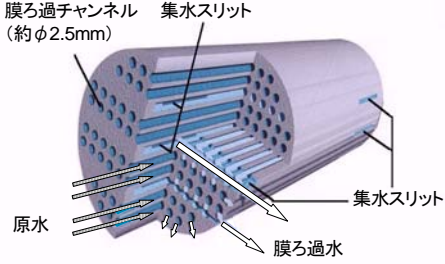


平成 20 年 5 月 28 日：平成 20 年度第一回技術管理委員会議題

○共同研究の研究成果

研究テーマ名	再生水処理技術(セラミック膜ろ過)の開発
研究形態	公募型共同研究
所管部署	計画調整部技術開発課 共同研究者:メタウォーター株式会社
研究期間	平成18年7月～平成21年3月
研究目的・技術概要	<p>[研究目的] 再生水の利用拡大に伴う新たな処理技術を開発する。</p> <p>[技術概要] 本技術は、二次処理水から再生水を造水するための高度処理技術である。 処理フローとしては、 ①生物処理による亜硝酸酸化工程、 ②オゾンによる脱色・酸化工程、 ③PACによる凝集工程、 ④セラミック膜による精密膜ろ過工程、 で構成する。 セラミックは、耐久性に優れているため、良好な水質の再生水を、安定的に低コストで造水することが可能である。</p>  <p>膜ろ過チャンネル (約φ2.5mm) 集水スリット 集水スリット 原水 膜ろ過水 セラミック膜の構造</p>
研究目標	<p>水質:「下水処理水の再利用水質基準等マニュアル」(国土交通省,平成17年4月)に定められた親水用水基準を十分に達成するとともに、特に色度は3程度、濁度は1程度以下とする。</p> <p>経済性:総コスト53円/m³以下。(施設規模3,000m³/日を想定) 設置面積:600m²以下。(施設規模3,000m³/日を想定)</p>
研究結果	本技術は、上記の研究目標をすべて達成した。